

平成27年度

文化財・生涯学習課（生涯学習関係分）事業概要



平成 27 年度 生涯学習関連施策方針

長野県は、急速な人口減少、ライフスタイルの変化、経済の成熟化など、高齢化の進行や価値観の多様化に加え、国・地方の財政状況が逼迫する中、これまでの発想の延長線上だけでは課題を解決できない時代を迎えています。

今後、質の高い、持続可能な社会を維持していくには、地域社会を構成する様々な主体が参加して、行政との共創・協働によりつくられる社会と、さらに県民一人ひとりが生涯にわたって個々のニーズに応じた学習を自発的に行い、能力を高め、その成果を社会に活かしていくことが望まれます。

こうした状況の中、県では平成 25 年度から 29 年度まで“確かな暮らしが営まれる美しい信州”を基本目標として、直面する課題に向き合い、「未来の信州」に向けて確かな一歩を踏み出す県政運営の基本となる総合計画「長野県総合 5 か年計画【2013】」を策定しました。

この計画の中で、生涯学習の分野においては、誰もが生涯を通じて学び続けることで自らを高め、一人ひとりが人生を充実させ、学んだことを地域に活かすことを掲げています。

さらに、この 5 か年計画の教育分野における個別計画として、長野県教育委員会策定の「第 2 次長野県教育振興基本計画」では、“一人ひとりの学びが生きる教育立県「信州」の創造”を基本理念とし、その中で「社会全体で共に育み共に学ぶ教育の推進」を生涯学習の基本目標に据えて、県民一人ひとりと地域全体に活気があふれるような学びが循環する社会の創造を目指すこととします。

未来の信州に向けて、誰もが生涯を通じて学び続けることで自らを高め、その学びの成果を地域課題解決に向けて生かしていけるように、県関係機関、市町村等との連携を図りながら、生涯学習の推進に努めてまいります。

平成 27 年 4 月

長野県教育委員会事務局
文化財・生涯学習課

平成27年度 生涯学習振興施策体系 [文化財・生涯学習課関連]

平成27年度生涯学習振興施策体系は、平成25年度から29年度における長野県の県政運営の基本となる総合計画「長野県総合5か年計画」と、この計画の教育分野に対応し、教育基本法第17条第2項に基づき長野県が教育振興のために策定する「長野県教育振興基本計画」を基本に作成されています。

1 長野県総合5か年計画(平成25年度～29年度)

(1)基本目標

確かな暮らしが営まれる美しい信州

(2)私たちがめざす「未来の信州」の姿

- ①世界に貢献する信州
- ②「豊かな」ライフスタイルを実現する信州
- ③誰にでも居場所と出番がある信州
- ④健康長寿世界一の信州
- ⑤一人ひとりの力を引き出す教育県信州

(3)プロジェクトによる施策の推進

【方針1】「貢献」と「自立」の経済構造への転換

- ①次世代産業創出プロジェクト
- ②農山村産業クラスター形成プロジェクト
- ③環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト

【方針2】豊かさが実感できる暮らしの実現

- ④健康づくり・医療充実プロジェクト
- ⑤雇用・社会参加促進プロジェクト
- ⑥誇りある暮らし実現プロジェクト

【方針3】「人」と「知」の基盤づくり

- ⑦活動人口増加プロジェクト

⑧教育再生プロジェクト

地域に開かれた信頼される学校づくり

生涯にわたる学びの環境

【方針4】「信州」の価値向上と発信

- ⑨信州ブランド確立プロジェクト

(4)施策の総合的展開

- ①産業・雇用
- ②地域づくり
- ③環境
- ④安全
- ⑤社会基盤
- ⑥健康・福祉
- ⑦教育・子育て

文化財・生涯学習課主要関連事業

・信州型コミュニティスクール

・生涯学習推進センター事業

・県立長野図書館事業

・青年の家・少年自然の家事業

・信州ふれあい自然体験キャンプ事業

・放課後子ども教室推進事業

・県立歴史館事業

**第2次長野県教育振興基本計画に基づく
平成27年度文化財・生涯学習課関連事業の概要**

1 学びの成果が生きる生涯学習の振興（基本施策6）

学びが循環する地域社会を創造するために、文化財・生涯学習課では次のような取組を進めてまいります。

(1) 学びが循環する社会の創造

①生涯学習の基盤づくり

◆生涯学習推進本部

全庁的な組織として生涯学習推進本部をもとに、各部局間の連携・調整を図りながら、県が行う生涯学習に関する施策を総合的に推進します。また、生涯学習に対する意識の高揚を図るために、生涯学習月間を設定し、周知に努めます。

◆社会教育委員会議

地域の教育力向上などについて幅広く関係者から意見を聴取し、社会教育に関する諸計画の立案や研究調査などに反映させます。

◆社会教育振興事業

社会教育関係団体が行う公共性が高く社会教育の振興に寄与すると認められる事業に対し、補助金を交付します。

◆生涯学習推進プログラムガイド作成

生涯学習の推進や学びの成果の生かし方、学校・家庭・地域の連携など、事例紹介を含め、市町村や学校等で推進の参考となるガイドブックを作成します。

◆生涯学習推進センター事業

研修事業、情報提供事業、調査研究事業の3本の柱で、生涯学習の基盤づくりに取り組んでいます。

<研修事業>

地域社会が抱える様々な課題解決に向け、一步を踏み出す人材や住民自

身が主役となる実践活動をリードできる人材の育成を目指します。

○地域づくり推進研修 5講座

住民が主体となり公民館活動やNPO・ボランティア活動などを通して、互いに学び合い、支え合いながら学びの絆で地域力を高め、「生涯学習によるまちづくり」が実践されるよう地域の指導者・支援者を養成します。

事例発表やワークショップなど参加体験型による研修を多く設定し、個の学びが地域に還元されるよう、地域活動の推進役、ワークショップの進行役等の養成や、世代を越えて主体的に地域活動に取り組む人材の育成をめざします。

また、生涯学習による協働のまちづくりの実現のために、活動者のネットワークづくりの充実に力を入れます。

○学校と地域の連携推進研修 4講座

学校と地域の連携・協働の意義や、「地域と共にある学校づくり」における教職員、コーディネーターの役割等についての研修を通して学校支援コーディネーターの技量を高め、資質の向上を図ります。また、学校支援ボランティアの意義や可能性、学校と地域が子どもをどのように育てていくのかなどについて、理念や願いを共有することを目的とした研修講座を設けます。

○地域の教育力向上研修 6講座

地域で子育て支援や学校支援等を実践する指導者・支援者等が課題を正しく理解するとともに、適切な取り組み方への理解を深める研修講座を開設し、子どもたちの健やかな成長を支える地域の教育力の向上を目指します。情報モラルの育成に関する講座は移動講座（4地区）として開催します。

これらのほかに、人権に関する講座やフォーラム、施設設備を活用した天体観測講座など、7領域20講座を開催します。

<情報提供事業>

生涯学習の推進に必要な情報を幅広く収集し、集めた情報を生涯学習推進センターのホームページや情報誌等で効果的に発信します。

生涯学習推進センターのホームページにおいて、県内の大学・短大・高専・高校の開放講座や出前講座などの情報を提供したり、研修講座の様子

をDVD化して貸し出したりすることで、県民の学習活動を支援します。

また、県民や市町村の担当者等の求めに応じて、電話等による学習活動の相談に対応しています。

<調査研究事業>

県民の生涯学習活動を支援するための基礎的分野として、時代のニーズに対応した生涯学習の振興支援の諸方策を研究・調査します。

◆県立長野図書館事業

県内図書館及び団体等との連携・協働により、県民全体へのサービス強化を図り、「県民の学びを地域・郷土に還元できる生涯学習の拠点」を目指します。

○県内公共図書館への支援、連携の強化

- ・巡回訪問相談を実施し、図書館職員研修の充実強化を図ります。
- ・県内公共図書館、公民館図書室、県内の高校・大学図書館との図書資料流通等の活性化に努めます。
- ・信州首都圏総合活動拠点における、市町村立図書館と共同しての朗読・地域に関する本の展示等を実施します。

○情報発信の活性化、県民との協働の推進

- ・レファレンスデータベースの構築など、課題解決支援の充実を図ります。
- ・ホームページ内に開設した「子ども読書情報館」において、読書活動に資する情報の提供に努めます。
- ・民間団体・NPO等との協働による県立長野図書館内外での企画展開催等、情報発信の充実を図ります。

例) 『美しき信州の山々(山の日)』

『デジタル地域史資料で見る信州の歴史』

『起業・経営無料相談会 in 県立長野図書館』

○所蔵資料のデジタル化及びその活用、長野市及び県立長野図書館周辺以外の県民の図書資料利用の促進

- ・ボランティア人材(図書館サポーター)を含めたデジタル化検討会を中心に、図書資料の整備、活用を促進します。

○長野県・信州に関する郷土資料の収集・保存の強化

- ・郷土資料の寄贈について県民への周知及び公共図書館への協力依頼を行います。
- ・郷土に関わる図書資料の重点的な購入を進めます。

◆青年の家・少年自然の家における体験活動の推進

指定管理者制度により、効果的・効率的な運営を図りつつ、自然体験活動を通して豊かな情操や社会性を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図ります。また、大学生等のボランティアと連携した各種事業を実施します。

◆市町村公民館への支援・連携

地域課題や現代的課題等を身近な場所で学ぶ機会の提供、住民の地域活動やボランティア活動への参加促進を図る公民館の取組を支援し、地域コミュニティの拠点づくりを推進します。

②地域コミュニティの再生

◆市町村公民館への支援・連携【再掲】

地域課題や現代的課題等を身近な場所で学ぶ機会の提供、住民の地域活動やボランティア活動への参加促進を図る公民館の取組を支援し、地域コミュニティの拠点づくりを推進します。

③社会人権教育の推進（※心の支援課担当）

④学校・地域社会と高等教育機関の連携

◆青年の家・少年自然の家における体験活動の推進【再掲】

指定管理者制度により、効果的・効率的な運営を図りつつ、自然体験活動を通して豊かな情操や社会性を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図る事業を実施するため、大学生等のボランティアとの連携を進めます。

◆信州ふれあい自然体験キャンプ事業

自然体験活動やいじめ・不登校未然防止と不登校児童生徒支援に対応できる人材を育成した上で、自然体験活動を中心とした4泊5日の長期宿泊キャンプを実施することで、いじめ・不登校の未然防止と不登校児童生徒支援の充実を図ります。

◆生涯学習推進センター事業【再掲】

県内の大学・短大・高専・高校と連携して、学校の開放講座や出前講座の情報をホームページに掲載し、県民の学習活動を支援します。

(2) 子どもの未来づくり

①学校、家庭、地域の連携を支援

◆信州型コミュニティスクールの推進

地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するため、地域住民や保護者による学校支援や学校運営への参画の仕組みを整えた信州型コミュニティスクールの普及を図ります。

○信州型コミュニティスクールのモデル校づくり

学校と地域の連携・協働を進める既存の組織等を活用した信州型コミュニティスクールのモデル校づくりを進め、その成果と課題を検証しながら、普及を図ります。

○信州型CSアドバイザーの派遣

信州型コミュニティスクールを立ち上げる学校に、信州型CSアドバイザーを派遣し、立ち上げに伴う諸課題に対して経験に基づく助言等の支援を行います。

○市町村教育委員会・学校訪問の実施

市町村教育委員会や学校を訪問し、信州型コミュニティスクールについての説明や、意見交換を行い、信州型コミュニティスクールについての理解を広げます。

○教職員、コーディネーター、ボランティアの研修等の実施

学校と地域の連携・協働の意義や、信州型コミュニティスクールにおけるそれぞれの役割等について出前講座や各種研修を行い、理解や意識の醸成を図ります。

また、信州型コミュニティスクールの仕組みづくりや活用に向けて、教職員や市町村教育委員会、地域住民が、理念や課題を共有して具体的に取り組むことができるよう、フォーラムや関係者による意見交換会を行います。

◆放課後子ども教室推進事業

○放課後子ども教室

余裕教室等を活用して、放課後等の子どもたちが安全で健やかに過ごすことのできる居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動を行います。

また、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの総合的な在り方の検討を行うための推進委員会や、放課後対策事業に関わる事業関係者の資質向上・情報交換等を図るための研修会を開催します。

○地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業

地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力により、土曜日の体系的・継続的なプログラムを計画・実施する取組を支援し、教育支援体制の構築を図ることにより、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現します。

○地域未来塾実施事業

経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていなかったりする中学生のために、地域住民の力を生かし、「地域未来塾」を開講し学習支援を行います。

②豊かな交流、体験活動の推進

③家庭教育の支援

◆PTA指導者研修事業

PTA役員等の指導的立場の者を対象に、親子のふれあい、体験活動、家庭学習のあり方、インターネットとの関わり方等に関する今日的な課題や、PTA活動のあり方などについて研修し、指導者の資質向上とPTA活動の充実を図ります。

講演や実技講習、各単位PTAの実践に基づく情報交換、討議等を通じて、PTA活動の活性化を支援します。

◆家庭教育支援策の情報収集と提供

市町村における家庭教育支援事業の調査を行い、ホームページ等で紹介します。

◆親の学びプログラム作成のための調査研究

親として身につけたい心構えや知識、技能など親の学びのためのプログラムの作成に向けて調査・研究を行います。

◆「早寝早起き朝ごはん」運動の推進

子どもの健やかな成長を促すためには、「早寝早起き」や「朝ごはん」を摂ることなど、基本的な生活習慣を身につけることが重要であることから、「早寝早起き朝ごはん」運動を推進します。

『早寝早起き朝ごはん』国民運動」や県内の実践事例について情報収集し、ホームページで紹介します。

◆共育クローバープラン啓発

すべての子どもと大人が共に学び、共に育つことを願い、「□本を読む □汗を流す □あいさつ・声がけをする □スイッチを切る」等の取組が、日々の暮らしの中で地道に実践されることを提唱します。

◆放課後子ども教室推進事業【再掲】

○放課後子ども教室

余裕教室等を活用して、放課後等の子どもたちが安全で健やかに過ごすことのできる居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動を行います。

また、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの総合的な在り方の検討を行うための推進委員会や、放課後対策事業に関わる事業関係者の資質向上・情報交換等を図るための研修会を開催します。

○地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業

地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力により、土曜日の体系的・継続的なプログラムを計画・実施する取組を支援し、教育支援体制の構築を図ることにより、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現します。

○地域未来塾実施事業

経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていなかったりする中学生のために、地域住民の力を生かし、「地域未来塾」を開講し学習支援を行います。

④青少年健全育成、健全な社会環境づくり

◆青年の家・少年自然の家における体験活動の推進【再掲】

指定管理者制度により、効果的・効率的な運営を図りつつ、自然体験活動を通して豊かな情操や社会性を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図るための各種事業を実施します。

◆信州ふれあい自然体験キャンプ事業【再掲】

自然体験活動やいじめ・不登校未然防止と不登校児童生徒支援に対応できる人材を育成した上で、自然体験活動を中心とした4泊5日の長期宿泊キャンプを実施することで、いじめ・不登校の未然防止と不登校児童生徒支援の充実を図ります。

◆子どもの読書活動の推進

「第3次長野県子ども読書活動推進計画」（平成27年度から概ね5年間）に基づき、県内市町村をはじめ、関係各機関への広報を進めるとともに、子どもの自主的な読書活動を推進します。

2 潤いと感動をもたらす文化・スポーツの振興（基本施策7）

(2) 文化財の保護・継承・活用

◆県立歴史館事業

県立歴史館において、郷土の歴史と文化財に対する親しみと理解が深められるよう常設展・企画展を開催するとともに、小・中学生をはじめとする県民の見学を受け入れ、展示解説等を行います。企画展に関連する講演会や講座、学習会なども実施します。

また、長野県の歴史に関する資料、文献・図書などの収集・保存に努めるとともに、その情報をインターネットの検索システムにより提供します。

平成27年度 当 初 予 算

(単位：千円、%)

区 分	平成27年度 当初予算額 A	平成26年度 当初予算額 B	増 減 A - B	対 前 年 比 A / B
一 般 会 計	869,487,510	849,123,396	20,364,114	102.4
教 育 費	199,212,695	198,354,052	858,643	100.4
生涯学習関係	384,985	726,848	△ 341,863	53

生涯学習関係当初予算内訳

(単位：千円)

目	事 業 名	予 算 額	内 訳				
			人件費	物件費	工 事 費 請 負 費	負担金 補助金	その他
社会教育 総務費	生涯学習総務費	5,188					
	給 与 費	2,212	2,208			4	
	総 務 費	2,976		2,976			
	社会教育委員会・ 生涯学習審議会費	183	129	54			
	生涯学習振興費	25,216					
	PTA指導者研修事業	210	126	84			
	社会教育振興事業	500				500	
	放課後子ども教室推進事業費	20,936	60	66		20,810	
	信州型コミュニティスクール 推進事業	3,489	918	474		2,097	
	子どもの読書活動推進 計画事業	0					
	信州ふれあい自然体験キャンプ事業	0					
	親の学習プログラム作成事業	81	51	30			
	社会教育 施設費	生涯学習推進センター事業費	15,171				
情 報 提 供 事 業		143		143			
研 修 事 業		1,232	808	424			
運 営 経 費		13,796	10,783	2,987		17	9
県立図書館事業費		124,852					
管 理 運 営 費		54,416	26,360	18,038		163	9,855
コンピュータ管理費		28,604		28,604			
事 業 費		41,832	435	30,508			10,889
青年の家・少年自然の家 管 理 運 営 費		118,882			6,902		
青年の家管理運営費		54,550					54,550
少年自然の家管理運営費	57,430					57,430	
文化財 保 護 費	県立歴史館事業費	95,493	18,500	76,860		119	14
合 計	384,985	60,378	161,248	6,902	23,710	132,747	
前 年 度	726,848	49,442	183,538	300,714	29,614	163,540	
差 引	△ 341,863	10,936	△ 22,290	△ 293,812	△ 5,904	△ 30,793	